

令和3年度 地域ぐるみで「体験の風をおこそう」推進事業
国立中央青少年交流の家

オープンハウス2021

～SDGsフェスタ～

令和3年12月25日(土)

主催:国立中央青少年交流の家

(静岡県「体験の風をおこそう」推進事業実行委員会)



〇趣旨

国立中央青少年交流の家の活動プログラムをはじめとした様々な体験活動を通して、体験活動の楽しさを体感し、体験活動の重要性の普及と当交流の家の周知を図る。

また、「SDGs」をキーワードに据え、SDGsに取り組む団体の取組情報の発信と交流の機会とすることにより、SDGsの啓発に寄与するとともに、関係団体とのパートナーシップを一層推進し、地域から広く必要とされる施設づくりの一環とする。

〇活動内容

【オープンハウス2021 開会宣言】

オープンハウス2021 実行委員長根上眞一氏による「開会宣言」がおこなわれ、御殿場南高校吹奏楽部のファンファーレによりオープンハウス2021がスタートした。

【体験活動とSDGs】

体験活動を提供する団体や、その活動と、SDGsとの繋がりを明示したことで、体験提供者・来場者ともにSDGsを身近なものに感じながら、多様な体験活動を楽しんだ。

◇スポーツ体験

- ・フレスコボール体験
- ・ペタンク体験
- ・アーチェリー体験
- ・キックターゲット 等

◇制作体験

- ・紙バンド工作
- ・木工パズルにお絵かき
- ・Black Wall 制作体験
- ・ミニ門松づくり
- ・万華鏡づくり
- ・クリスマスツリー制作
- ・スノードーム制作
- ・コサージュづくり
- ・プラスチック容器からキーホルダーを作ろう
- ・貝殻を用いたフォトフレームづくり
- ・松ぼっくりクラフト体験
- ・缶バッジづくり 等
- ・簡単料理体験
- ・木の実マグネット制作

◇ワークショップやその他の体験

- ・音を楽しむ体験
- ・動物とのふれあい体験
- ・ビオトープ鑑賞&体験学習
- ・SDGsについて考えよう
- ・スタンプラリー
- ・オリエンテーリング
- ・伊豆半島ジオパークすごろく
- ・ダンス披露
- ・交通安全クイズ大会&子供免許証づくり
- ・防災減災について考えよう
- ・吹奏楽演奏
- ・野生動物交通事故対策プロジェクト
- ・ガールスカウト情報発信 等
- ・地域課題探究発表
- ・絵本の読み聞かせ



【SDGsマルシェの開催】

SDGsに繋がる商品を集めたマルシェも賑わった。「SDGsを考慮して商品選択する」という体験の機会になっていた。

- ・『ハンディキャップを持った方々が製作』焼き菓子、縫製品、木のハガキ 等
- ・『放置竹林の解消』サクサクメンマ
- ・『間伐材の使用』積み木、赤ちゃんの玩具 等
- ・『地域活性化へ～高校生の商品開発』

すそのまんじゅう、ファイゴンクッキー、
泉ちゃんゼリー、熱海レモンスコーン 等



【地元地域とのコラボ企画】

- ・「御殿場市地域公共交通協議会」とのコラボ企画『GOTEMBA BUS FES』開催
- ・「御殿場市文化協会」による『茶道体験』『華道展&生け花体験』『フラダンスステージ発表』
- ・「御殿場市ボランティア連絡協議会」による『風車づくり』体験
- ・「御殿場市立図書館」による『移動図書館車ライオンズ号』
- ・「御殿場ロータリークラブ」による『未来への手紙』
- ・「陸上自衛隊滝ヶ原駐屯地」による『自衛隊車両装備品展示』と『滝ヶ原雲海太鼓』の演奏



○参加者アンケートより

〔イベントの満足度〕4段階評価で3以上 100%

- ・毎年楽しみにしています。今年も朝から楽しませてもらいました。
- ・なかなかできない体験やワークショップができて良かった。
- ・たくさんの人と話せるいい機会になった。
- ・SDGsの活動が身近にあるものだと知ることができた。
- ・コロナ禍でも毎年実施してもらえて嬉しかったです。また開催されるならぜひ来たいです。

○まとめ

今年度は、当初10月24日の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、12月に延期して事業を実施した。昨年度と同様可能な限りの感染防止対策（名簿の提出、ポートシールを用いて各体験ブースで来場者を記録、換気・消毒タイムの設定 など）を講じ、参加者に少しでも安心してもらえるよう努めた。

今年度の「SDGsフェスタ」では、SDGsの啓発、なかでも「パートナーシップの一層の推進」を重点目標に掲げた。新規団体として17団体の参加があったことや、たくさんの地域団体とのコラボ企画が実現できたことは、成果のひとつと考える。また、当日の運営スタッフとして地元の中学生や高校生など50名以上の参加があり、年代を越えた運営チームの編成、さらにはコミュニケーションの機会とすることができた点も成果のひとつと挙げられる。

事業を通して得た団体や地域との繋がりを今後も大切にしていき、変化の大きい社会において、ますます必要とされる施設であり続けられるよう努めていきたい。